# 市　の　財　政

平成17年６月

千　　葉　　市

# 目　　次

Ⅰ　平成16年度下半期における予算の執行状況 ―― 1

Ⅱ　市民負担の状況 ―― 3

Ⅲ　財産，市債及び一時借入金の現在高 ―― 4

Ⅳ　公営企業の下半期の業務状況 ―― 6

Ⅴ　平成17年度当初予算の状況 ―― 9

※この公表の数値については，百万円単位で整理してあります。
　表示単位未満を四捨五入数値してあるので割合・一人当たりの金額・合計等が一致しない場合があります。

「千葉市財政状況の公表に関する条例」に基づき、市の財政状況について公表します。

# Ⅰ　平成16年度下半期における予算の執行状況

平成17年３月31日現在

## 一般会計

平成16年度の歳入歳出予算は、当初3,456億円で、前回（12月）公表時点では、3,590億58百万円でありましたが、その後12月、２月に補正を行い、129億99百万円を増額しましたので、最終予算現額は、3,720億58百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1,570億80百万円、累計額で2,994億15百万円となり、一方、支出総額で1,178億98百万円、累計額で2,365億49百万円となっています。

## 特別会計

公営企業会計を除く16の特別会計の総予算は、当初2,831億47百万円で、前回（12月）公表時点では、2,833億23百万円でありましたが、その後２月に老人保健医療事業特別会計他で補正を行い、総額42億15百万円を増額しましたので、総予算現額は、2,875億37百万円となっています。

今期中における執行状況は、収入総額で1182億56百万円、累計で1,951億円となり、一方、支出総額で1,504億66百万円、累計で2,594億98百万円となっています。

一般会計と特別会計の平成17年3月31日現在の予算執行状況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

| 区分 | | 予算現額 | | | | | 歳入 | | 歳出 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 会計名 | | 当初予算額 | 補正予算額（上期） | 補正予算額（下期） | 繰越事業繰越額 | 計 | 収入済額（累計） | 収入割合（累計） | 支出済額（累計） | 支出割合（累計） |
| 一般会計 | | 345,600 | 2,499 | 12,999 | 10,959 | 372,058 | 299,415 | 80.5 % | 236,549 | 63.6 % |
| 特別会計 | 交通災害共済事業 | 85 | — | — | — | 85 | 35 | 41.9 % | 76 | 89.4 |
| | 駐車場事業 | 117 | — | — | — | 117 | 41 | 35.1 % | 111 | 94.7 |
| | 国民健康保険事業 | 67,202 | — | △ 280 | — | 66,922 | 54,319 | 81.2 % | 59,863 | 89.5 |
| | 老人保健医療事業 | 44,417 | — | 1,320 | — | 45,737 | 40,293 | 88.1 % | 42,007 | 91.8 |
| | 介護保険事業 | 27,625 | 70 | 935 | — | 28,630 | 22,456 | 78.4 % | 25,845 | 90.3 |
| | 母子寡婦福祉資金貸付事業 | 292 | 48 | — | — | 340 | 328 | 96.6 % | 311 | 91.4 |
| | 霊園事業 | 462 | — | — | — | 462 | 526 | 113.9 % | 424 | 91.7 |
| | 農業集落排水事業 | 1,121 | — | — | — | 1,121 | 331 | 29.5 % | 399 | 35.6 |
| | 競輪事業 | 21,838 | — | — | — | 21,838 | 16,334 | 74.8 % | 16,624 | 76.1 |
| | 中央卸売市場事業 | 1,311 | — | — | — | 1,311 | 710 | 54.2 % | 932 | 71.1 |
| | 都市計画土地区画整理事業 | 978 | — | — | 17 | 995 | 261 | 26.3 % | 642 | 64.5 |
| | 市街地再開発事業 | 978 | — | — | 40 | 1,018 | 101 | 10.0 % | 304 | 29.9 |
| | 動物公園事業 | 1,676 | — | — | — | 1,676 | 427 | 25.5 % | 1,171 | 69.9 |
| | 公共用地取得事業 | 2,940 | — | 537 | — | 3,477 | 661 | 19.0 % | 660 | 19.0 |
| | 学校給食センター事業 | 2,383 | — | — | — | 2,383 | 1,112 | 46.7 % | 2,122 | 89.1 |
| | 公債管理 | 109,723 | — | 1,703 | — | 111,426 | 57,164 | 51.3 % | 108,007 | 96.9 |
| | 小計 | 283,147 | 118 | 4,215 | 57 | 287,537 | 195,100 | 67.9 % | 259,498 | 90.2 |
| 合計 | | 628,747 | 2,617 | 17,213 | 11,016 | 659,595 | 494,515 | 75.0 % | 496,047 | 75.2 |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

今期中の補正予算の主な内容は次のとおりです。

## 12月補正予算

| | | |
|---|---|---|
| 一般会計 | 23億54百万円 | |
| 生活保護 | 17億15百万円 | 医療扶助費、生活扶助費他 |
| 雇用対策（緊急地域雇用創出特別基金事業） | 6百万円 | 小規模雑居ビル等に対する消防法令違反是正指導 |
| 積立金 | 6億32百万円 | 財政調整基金積立金 |

## 2月補正予算

| | | |
|---|---|---|
| 一般会計 | 104億 48百万円 | |
| 社会福祉施設整備 | 15億40百万円 | 桜木園改築、高齢者福祉施設整備助成 |
| 公債費 | 14億45百万円 | ＮＴＴ無利子貸付金の繰上償還 |
| 都市基盤整備 | 14億 2百万円 | 蘇我スポーツ公園整備、蘇我臨海土地区画整理 |
| 教育施設の整備 | 13億71百万円 | 小中学校大規模改造、小学校屋内運動場改築 |
| 消防体制整備 | 12億62百万円 | 消防ヘリコプター更新 |
| 基金積立金 | 10億91百万円 | 財政調整基金、社会福祉基金他 |
| 国直轄事業負担金 | 10億 4百万円 | 国道357号共同溝整備他 |
| 特別会計 | 42億 58百万円 | |
| 老人保健医療事業 | 13億20百万円 | 老人保健医療給付費等 |
| 介護保険事業 | 9億35百万円 | 介護サービス給付費等 |
| 公債管理 | 17億 3百万円 | |

※　その他、一般会計におきまして、旧日本興業銀行（現みずほコーポレート銀行）に対する国税の追徴課税処分取消判決が確定したことに伴い、必要となった法人市民税過誤納金及び還付加算金にかかる予算の増額分を専決処分により補正いたしました。　平成16年12月27日　1億97百万円

一般会計　地方公共団体の行政運営の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

特別会計　特定の目的のために設けられた会計をいいます。千葉市では交通災害共済事業ほか15の会計が条例で設置されています。

また、病院事業、下水道事業、水道事業は公営企業会計と呼ばれ、地方公営企業法にもとづき独立採算を原則として設置された特別会計で、その他の特別会計とは区別されています。

補正予算　予算の編成後に生じた理由によって、既定予算に追加・変更をする必要がある場合、議会の議決を経て成立した予算をいいます。

# Ⅱ　市民負担の状況

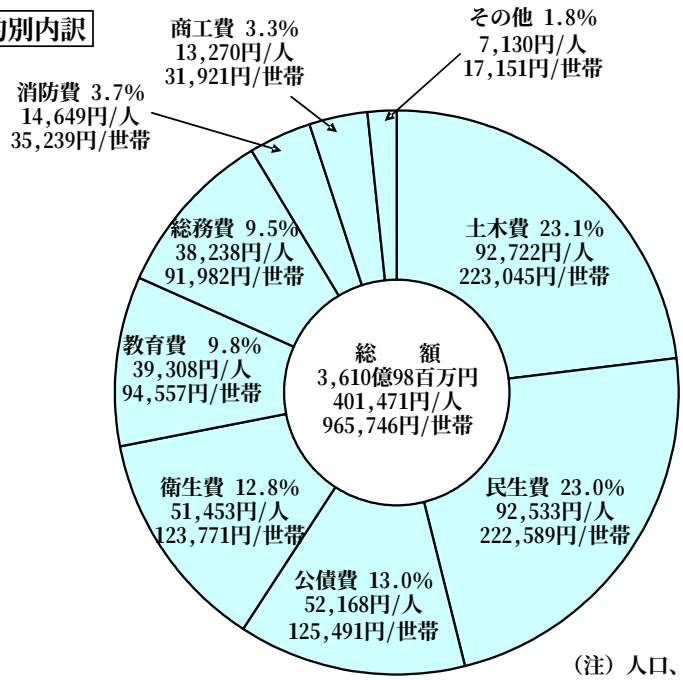
市税は、市政運営のために欠くことのできない財源であり、歳入予算総額の約5割を占めています。

平成17年3月末の予算額でみますと、市税の予算額は、1,560億85百万円（滞納繰越分と国有資産等所在市町村交付金及び納付金を除く。）となっていますので、これを平成17年3月末の人口（899,438人）及び世帯数（373,906世帯）で割りますと、市民１人当たり173,536円、１世帯当たり417,444円の負担となっています。

また、市民のために使われる経費（これを行政経費といいます。ただし、歳出予算現額から繰越額を除く。）は、市民１人当たり401,471円、１世帯当たり965,746円となっていますので、市民の行政経費の負担割合は43.2%となっています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 市民１人当たりの市税負担額・・・・・ | 173,536 円 | うち市民税 | 72,234 円 |
| | | うち固定資産税 | 75,156 円 |
| | | その他 | 26,146 円 |
| １世帯当たりの市税負担額・・・・・ | 417,444 円 | うち市民税 | 173,761 円 |
| | | うち固定資産税 | 180,788 円 |
| | | その他 | 62,895 円 |
| 市民１人当たりの行政経費・・・・・ | 401,471 円 | | |
| １世帯当たりの行政経費・・・・・ | 965,746 円 | | |

行政経費の目的別内訳




（注）人口、世帯数は住民基本台帳登録による。

# Ⅲ　財産、市債及び一時借入金の現在高

平成17年３月31日現在

## 財産の現在高

### 公有財産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）とに区分されます。

公営企業会計を除く公有財産の現在高は次のとおりです。

| 区分 | | | 土地 | 建物 | 船舶 | 浮桟橋 | 航空機 | 有価証券 | 出資による権利 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 公有財産 | 行政財産 | 公用 | ㎡ 701,701.87 | ㎡ 216,807.32 | 隻 1 | 個 1 | 機 2 | 百万円 ― | 百万円 ― |
| | | 公共用 | 13,005,332.03 | 2,115,492.49 | ― | ― | ― | ― | ― |
| | | 計 | 13,707,033.90 | 2,332,299.81 | 1 | 1 | 2 | ― | ― |
| | 普通財産 | | 613,125.41 | 51,003.09 | ― | ― | ― | 3,744 | 2,771 |
| 合計 | | | 14,320,159.31 | 2,383,302.90 | 1 | 1 | 2 | 3,744 | 2,771 |

### 基　金

基金とは，特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するためのもので、条例により目的、処分等が定められています。

（単位：百万円）

| 区分 | 現在高 | 備考（設置目的等） |
|---|---|---|
| 文化基金 | 751 | 市民文化の振興を図るため |
| 市庁舎整備基金 | 3,534 | 市庁舎整備事業に必要な経費に充てるため |
| 財政調整基金 | 3,380 | 財政の健全な運営に資するため |
| 市債管理基金 | 13,653 | 市債の償還財源の確保及び市債の適正な管理のため |
| 社会福祉基金 | 814 | 社会福祉の増進を図るため |
| 地域環境保全基金 | 400 | 地域の環境の保全及び創造に資するため |
| 地下水浄化事業推進基金 | 75 | 地下水の水質浄化事業を推進するため |
| リサイクル推進基金 | 241 | 廃棄物の減量及び再利用を推進するため |
| 緑と水辺の基金 | 4,471 | 緑と水辺を生かした快適な都市環境を創造するため |
| 美術品等取得基金 | 1,000 | 美術館に収蔵する美術品等を円滑に取得するため |
| 土地開発基金 | 17,692 | 公用若しくは公共の用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るため |
| 交通災害共済基金 | 35 | 交通災害共済事業の健全な運営を図るため |
| 介護給付準備基金 | 2,361 | 介護保険事業に係る財政の中期的な調整を図るため |
| 合計 | 48,408 | |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので，計が一致しない場合があります。

## 市債の現在高

学校、公園、清掃施設など大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・日本郵政公社・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいますが、これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備も可能となります。

（単位：百万円）

| 区分 | | 現在高 | 借入先 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 政府資金 | 民間等資金 |
| 一般会計 | | 599,184 | 209,031 | 390,153 |
| 特別会計 | | 55,470 | 12,184 | 43,286 |
| | 公共用地取得事業 | 30,007 | 293 | 29,714 |
| | 市街地再開発事業 | 13,119 | 893 | 12,226 |
| | その他 | 12,344 | 10,998 | 1,346 |
| 合計 | | 654,654 | 221,215 | 433,439 |

(注)国の減税や経済対策のため、地方の財源不足を補てんする目的で制度化された市債 153,721百万円を含む。

## 一時借入金の現在高

年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために、一般会計にあっては銀行等から、予算で定めた限度額の範囲内で一時的に借り入れるお金を一時借入金といい、その状況は次のとおりです。

（単位：百万円）

| 区分 | 予算で定めらた限度額 | 前期末残高 | 今期中借入高 | 今期中償還高 | 今期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | 50,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |

# Ⅳ　公営企業の下半期の業務状況

平成17年３月31日現在

## 事業の概況

### 病院事業

青葉病院、海浜病院の今期中の入院及び外来患者数の利用総数は、285,173人となっています。

| 区分 | 病床数 | 今期中の患者利用状況 | | | | 診療科目 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 入院患者数 | １日平均 | 外来患者数 | １日平均 | |
| | 床 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| 青葉病院 | 380 | 51,899<br>(54,204) | 285<br>(296) | 90,952<br>(85,960) | 764<br>(716) | 内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科 |
| 海浜病院 | 301 | 44,332<br>(48,209) | 244<br>(263) | 97,990<br>(96,982) | 765<br>(754) | 内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 |

※　（　）は前年同期の状況です。

### 下水道事業

今期中の有収水量は、45,171,126㎥となっています。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 行政区域内人口 | 917,521 | 人 | 整備区域内人口 | 862,962 | 人 |
| 普及率 | 94.1 | % | | | |
| 接続戸数 | 346,320 | 戸 | うち今期中増加接続戸数 | 7,485 | 戸 |
| 接続人口 | 828,815 | 人 | うち今期中増加接続人口 | 16,348 | 人 |
| 整備面積 | 11,805 | ha | うち今期中増加整備面積 | 108 | ha |
| 今年度接続助成件数 | 570 | 件 | うち今期中接続助成件数 | 304 | 件 |

### 水道事業

今期中の配水量は、2,058,761㎥となっています。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 計画給水人口 | 78,100 | 人 | 給水区域内人口 | 56,203 | 人 |
| 加入戸数 | 15,936 | 戸 | うち今期中加入戸数 | 145 | 戸 |
| 給水戸数 | 14,631 | 戸 | うち今期中増加給水戸数 | 130 | 戸 |
| 給水人口 | 41,209 | 人 | うち今期中増加給水人口 | 141 | 人 |

配水状況

| 区分 | 前期中 | 今期中 | 計 |
|---|---|---|---|
| 配水量 | 2,163,296 ㎥<br>( 2,088,869 ) | 2,058,761 ㎥<br>( 2,046,169 ) | 4,222,057 ㎥<br>( 4,135,038 ) |
| 有収水量 | 2,048,972 ㎥<br>( 1,974,526 ) | 1,989,827 ㎥<br>( 1,986,419 ) | 4,038,799 ㎥<br>( 3,960,945 ) |

※　（　）は前年度同期の状況です。

# 経 理 の 概 況

病院事業、下水道事業及び水道事業の予算執行状況は次のとおりとなっています。

なお、表に使われている収益的収支とは、医療サービス、汚水の処理、水の供給のように経常的な営業活動部門の収入、支出をいい、資本的収支とは、それら営業活動に必要な施設の建設改良、機器の調達等に係る収入、支出をいいます。

病院事業　（単位：百万円）

| 区分 | | 予算現額 | | | | | 収入 | | 支出 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当初予算額 | 補正予算額（上期） | 補正予算額（下期） | 繰越事業繰越額 | 計 | 執行額（累計） | 執行割合（累計） | 執行額（累計） | 執行割合（累計） |
| 青葉病院 | 収益的収支 | 9,931 | － | － | － | 9,931 | 9,105 | 91.7% | 9,093 | 91.6% |
| | 資本的収支 | 1,349 | － | － | － | 1,349 | 13 | 86.7% | 1,349 | 100.0% |
| 海浜病院 | 収益的収支 | 7,401 | － | － | － | 7,401 | 6,947 | 93.9% | 6,943 | 93.8% |
| | 資本的収支 | 768 | － | － | － | 768 | 262 | 92.9% | 752 | 98.0% |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

下水道事業　（単位：百万円）

| 区分 | 予算現額 | | | | | 収入 | | 支出 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 当初予算額 | 補正予算額（上期） | 補正予算額（下期） | 繰越事業繰越額 | 計 | 執行額（累計） | 執行割合（累計） | 執行額（累計） | 執行割合（累計） |
| 収益的収支 | 22,226 | － | △ 150 | - | 22,076 | 22,230 | 97.1% | 21,501 | 97.4% |
| 資本的収支 | 36,798 | － | 194 | 7,034 | 44,026 | 26,540 | 75.1% | 34,984 | 79.5% |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

水道事業　（単位：百万円）

| 区分 | 予算現額 | | | | | 収入 | | 支出 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 当初予算額 | 補正予算額（上期） | 補正予算額（下期） | 繰越事業繰越額 | 計 | 執行額（累計） | 執行割合（累計） | 執行額（累計） | 執行割合（累計） |
| 収益的収支 | 1,947 | － | － | － | 1,947 | 1,974 | 96.7% | 1,902 | 97.7% |
| 資本的収支 | 4,039 | － | － | － | 4,039 | 2,920 | 83.2% | 3,346 | 82.8% |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

## 市債の現在高

（単位：百万円）

| 公営企業会計名 | 現在高 | 借入金 | |
|---|---|---|---|
| | | 政府資金 | 民間等資金 |
| 病院事業 | 30,487 | 29,053 | 1,434 |
| 下水道事業 | 267,316 | 262,889 | 4,427 |
| 水道事業 | 11,538 | 11,538 | 0 |
| 合計 | 309,341 | 303,480 | 5,861 |

(注)国の減税や経済対策のため、地方の財源不足を補てんする目的で制度化された市債 351百万円を含む。

## 一時借入金の現在高

（単位：百万円）

| 公営企業会計名 | 予算で定められた限度額 | 前期末残高 | 今期中借入高 | 今期中償還高 | 今期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 病院事業 | 300 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 下水道事業 | 15,000 | 0 | 11,400 | 11,400 | 0 |
| 水道事業 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |

# Ⅴ　平成17年度当初予算の概要

## 1　編成の基本的考え方

平成17年度の予算は、市民一人ひとりが、将来に希望を抱き、豊かで安心して暮らせるよう、市民生活に密着した分野について、きめ細かな施策を計画的かつ着実に推進し、市民福祉の一層の向上と市域の均衡ある発展を図ることを基本として、財政収支見通しや三位一体の改革の動向を踏まえ、編成しました。

### (1) 本市の財政見通し

平成17年度の本市の財政見通しは、歳入では、自主財源の根幹を占める市税が、企業収益の回復などによる法人市民税の増が見込まれることなどから、４年ぶりに前年度を上回る見込みであります。

また、依存財源では、国の三位一体の改革に伴い、要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金や公営住宅家賃対策等補助金などが一般財源化され、所得譲与税で措置される見込みですが、地方交付税と臨時財政対策債は、前年度を下回る見込みであります。

また、市債については、将来の財政負担を考慮し、抑制を基調として活用することとしております。

一方、歳出では、斎場や蘇我球技場が完成することなどに伴い、普通建設事業が大幅に減少するものの、生活保護費などの扶助費や債務負担行為の償還金、新規施設等の開設に伴う管理運営費が増加するとともに、急速に進展する少子・高齢社会への的確な対応や最終年次となる新５か年計画の着実な推進など、市民生活の質的向上を図る各施策に多額の財政需要が見込まれることから、財政収支は極めて厳しい状況となっております。

### (2) 予算編成方針

このため、新年度予算の編成にあたっては、歳入の積極的な確保に最大限努力することはもとより、「最少の経費で最大の効果を挙げる」という財政運営の基本理念に基づき、各施策を適切に選択するとともに、事務事業の徹底した整理合理化や民間委託の推進などに積極的に取り組み、限られた財源の重点的・効率的配分に努めることとしました。

以上の基本的な考え方に基づき、次の点に留意し編成しました。

#### ① 新５か年計画の推進

最終年次となる新５か年計画について、市民福祉の一層の向上と市域の均衡ある発展を目指し、将来像の実現に向け、緊急性や重要性などから事業の厳選を行ったうえで、計画事業の着実な推進を図ることとしました。

特に、「環境問題への対応」、「少子化対策」、「高齢社会への対応」、「都市イメージの確立」、「地域経済の活性化」、「都市再生への取り組み」、「情報化の推進」の7分野については、引き続き重点的に取り組むとともに、「安全・安心のまちづくり」についても、充実を図ることとしました。

#### ② 行政改革の推進

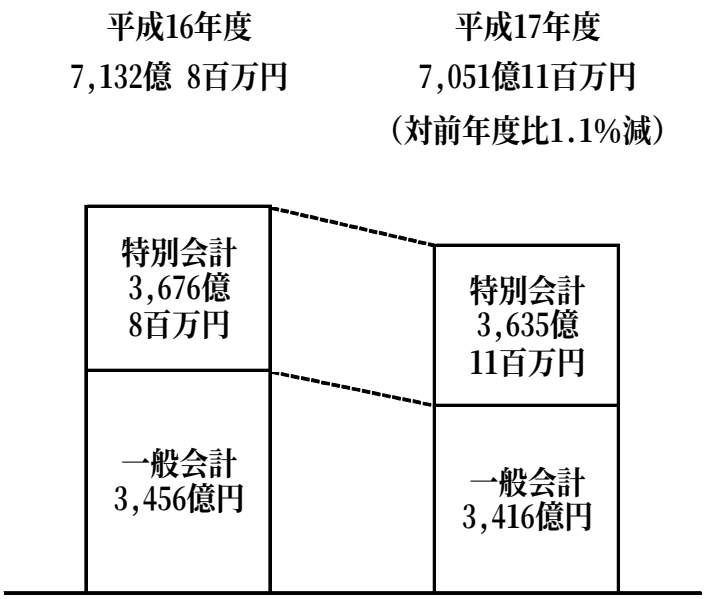
「新行政改革推進計画（平成17年度～19年度）」の初年度として、これまで以上に創意工夫を凝らし、一層の行政改革の推進に取り組むこととし、改善策等については、可能な限り予算に反映させることとしました。

特に、既定の事務事業については、事務事業評価システムの活用により、事業効果等を検証し、既成概念にとらわれない大胆な事業廃止や縮小など、さらに徹底した見直しを図ることとしました。

なお、新5か年計画の進捗率は、累計で、91.8%となっております。

## 2　予算の内容

### (1) 予算の規模

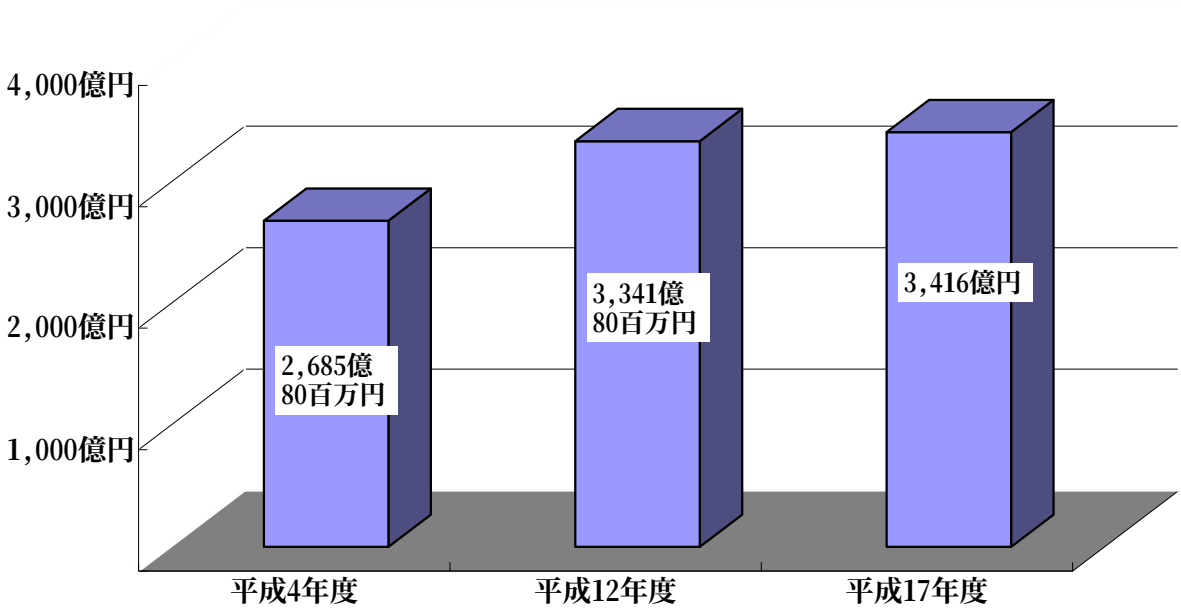



平成17年度一般会計の歳入歳出予算規模は、総額3,416億円で、前年度と比較して40億円1.2%の減となっています。

特別会計（企業会計を含む19会計）については、公債管理事業会計、下水道事業会計及び中央卸売市場事業会計等で減となったものの、介護保険事業会計、国民健康保険事業会計、公共用地取得事業会計及び水道事業会計等で増額となり、特別会計の総額は3,635億11百万円で、前年度と比較して40億97百万円、1.1%の減となっています。

以上、全会計を合わせた規模は7,051億11百万円で、前年度と比較して80億97百万円、1.1%の減となっています。

一般会計当初予算額の推移



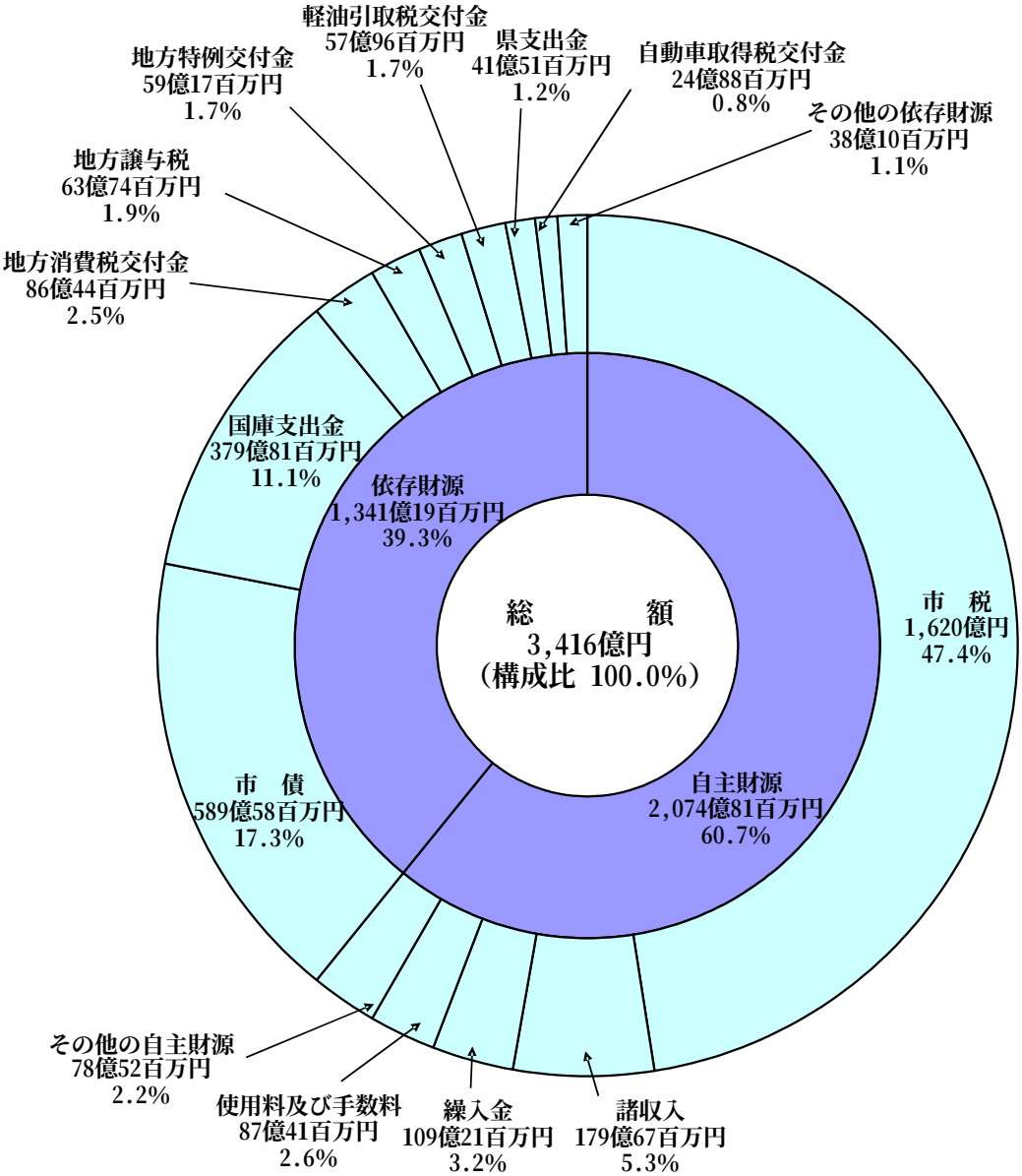
(2) 一般会計予算

（ 歳 入 ）

歳入予算の主なものとしては、市税が1,620億円、構成比47.4%と、歳入の根幹を成しています。

次いで、市債が589億58百万円、構成比17.3%となっていますが、この中には恒久的な減税を補てんするための減税補てん債21億20百万円のほか、地方財政の収支不足を補てんするための臨時財政対策債115億円が含まれています。

この他、国庫支出金は379億81百万円、構成比11.1%となっており、以下、諸収入、繰入金、使用料及び手数料の順となっています。




**自主財源と依存財源**

・自主財源とは、市税や使用料等のように市が自主的に収入するものです。

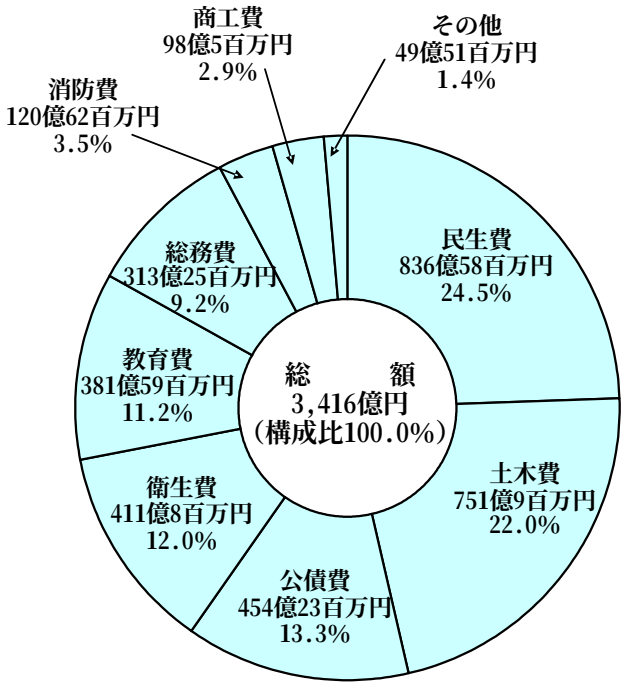
・依存財源とは、国庫支出金や県支出金、市債等のように国や県の意思決定に基づいて収入されるものです。

市税の主な内訳

| 税　目 | 予　算　額 | 構成比 |
|---|---|---|
| 市　民　税 | 691億56百万円 | 42.7　% |
| 固定資産税 | 691億31百万円 | 42.7 |
| 都市計画税 | 130億65百万円 | 8.0 |
| 市たばこ税 | 56億40百万円 | 3.5 |
| 事業所税 | 43億50百万円 | 2.7 |
| そ　の　他 | 6億58百万円 | 0.4 |
| 計 | 1,620億円 | 100.0 |

（ 歳 出 ）

目的別の内訳




歳出予算の主なものとしては、民生費が第１位で、836億58百万円、構成比24.5%となっています。

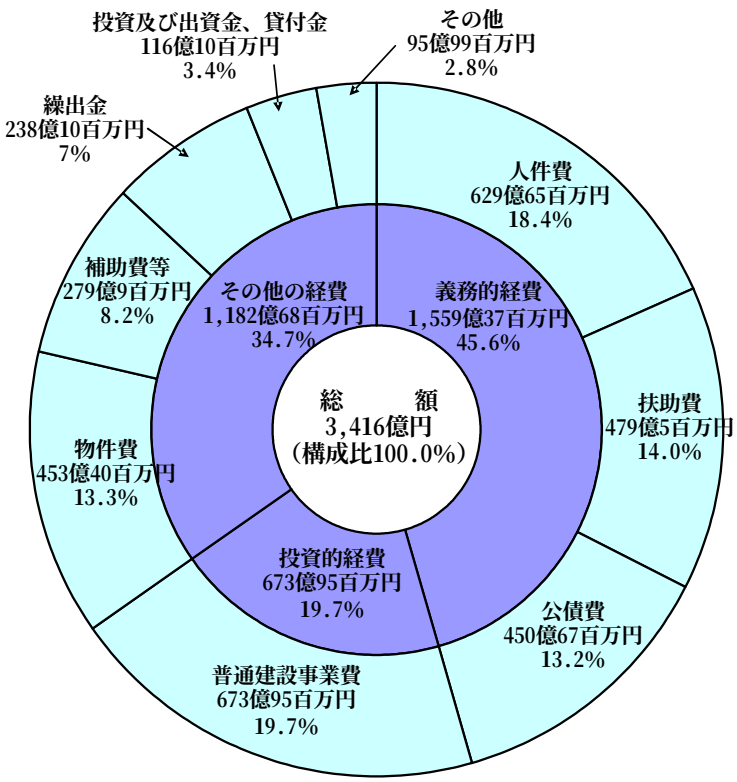
次いで、土木費が751億9百万円、構成比22.0%、公債費が454億23百万円、構成比13.3%、以下、衛生費、教育費、総務費、消防費、商工費の順となっています。

**目的別経費と性質別経費**

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされるかという基準により分類されるもので、議会費、教育費、土木費等をいいます。

性質別経費とは、具体的な行政目的がどのようなものであるかにかかわりなく、その経費がどのような性質を有するかという点に着目して分類するもので、人件費、物件費、維持補修費等をいいます。

性質別の内訳




財政構造の面から歳出予算を性質別でみますと、義務的経費が1,559億37百万円、構成比45.6%となっています。

投資的経費は、673億95百万円、構成比19.7%で、その全てが普通建設事業費となっています。

その他の経費は、1,182億68百万円、構成比34.7%となっています。

**義務的経費と投資的経費**

義務的経費とは、極めて硬直性の強い経費であって、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

投資的経費とは、支出効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るもので、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

(3) 特別会計予算

平成17年度の公営企業会計を除く特別会計16会計の予算総額は、2,810億46百万円となっています。

主な会計といたしましては、公債管理が1,005億14百万円、国民健康保険事業が695億22百万円、老人保健医療事業が445億98百万円、介護保険事業が306億47百万円、競輪事業が217億87百万円となっています。

（単位：百万円）

| 区分<br>会計名 | 平成17年度<br>当初予算額<br>(A) | 平成16年度<br>当初予算額<br>(B) | 増減額<br>(A)－(B)<br>(C) | 増減率<br>(C)／(B)<br>(D) |
|---|---|---|---|---|
| 公債管理 | 100,514 | 109,723 | △ 9,209 | △ 8.4 % |
| 国民健康保険 | 69,522 | 67,202 | 2,321 | 3.5 |
| 老人保健医療 | 44,598 | 44,417 | 181 | 0.4 |
| 介護保険 | 30,647 | 27,625 | 3,023 | 10.9 |
| 競輪 | 21,787 | 21,838 | △ 51 | △ 0.2 |
| 公共用地取得 | 4,814 | 2,940 | 1,874 | 63.7 |
| 学校給食センター | 2,227 | 2,383 | △ 156 | △ 6.5 |
| 動物公園 | 1,644 | 1,676 | △ 31 | △ 1.9 |
| 中央卸売市場 | 1,101 | 1,311 | △ 210 | △ 16.0 |
| 市街地再開発 | 1,019 | 978 | 41 | 4.1 |
| 都市計画土地区画整理 | 1,002 | 978 | 24 | 2.4 |
| 農業集落排水 | 977 | 1,121 | △ 144 | △ 12.9 |
| 霊園 | 640 | 462 | 178 | 38.6 |
| 母子寡婦福祉資金貸付 | 400 | 292 | 108 | 37.1 |
| 駐車場 | 107 | 117 | △ 11 | △ 9.0 |
| 交通災害共済 | 46 | 85 | △ 39 | △ 45.8 |
| 合計 | 281,046 | 283,147 | △ 2,102 | △ 0.7 |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

(4) 公営企業会計予算

平成17年度の公営企業3会計の予算総額は、824億65百万円となっています。

（単位：百万円）

| 会計名 ＼ 区分 | | 平成17年度当初予算額 (A) | 平成16年度当初予算額 (B) | 増減額 (A)－(B) (C) | 増減率 (C)／(B) (D) |
|---|---|---|---|---|---|
| 病院事業 | | 19,351 | 19,449 | △ 99 | △ 0.5 % |
| | 収益的収支 | 17,059 | 17,333 | △ 274 | △ 1.6 |
| | 資本的収支 | 2,292 | 2,117 | 175 | 8.3 |
| 下水道事業 | | 55,359 | 59,024 | △ 3,665 | △ 6.2 |
| | 収益的収支 | 22,321 | 22,226 | 95 | 0.4 |
| | 資本的収支 | 33,038 | 36,798 | △ 3,760 | △ 10.2 |
| 水道事業 | | 7,755 | 5,986 | 1,769 | 29.6 |
| | 収益的収支 | 1,976 | 1,947 | 29 | 1.5 |
| | 資本的収支 | 5,779 | 4,039 | 1,740 | 43.1 |
| 合計 | | 82,465 | 84,460 | △ 1,995 | △ 2.4 |
| | 収益的収支 | 41,356 | 41,506 | △ 150 | △ 0.4 |
| | 資本的収支 | 41,109 | 42,954 | △ 1,845 | △ 4.3 |

（注）表示単位未満を四捨五入してあるので計欄及び割合が一致しない場合があります。

# 本年度の経営方針

## 病院事業

本年度の業務の予定量は、青葉病院が入院患者で115,140人、外来患者で195,200人であり、また海浜病院は入院患者で94,484人、外来患者で186,447人を予定しています。それぞれ、地域中核病院としての機能を高めつつ、患者サービスの向上に努めていきます。

## 下水道事業

本年度の業務の予定量は、整備面積303ha、累計処理面積12,131ha、水洗化助成件数1,000件、平成17年度末普及率96.0%を見込んでいます。

幹線管渠や面的整備を推進し、都市基盤整備と公共下水道の普及促進に努め、快適で衛生的な生活環境の改善を図っていきます。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減と管理の効率化を図り、健全な下水道経営に努めていきます。

## 水道事業

本年度の業務の予定量は、給水戸数15,430戸、総給水量4,287,000㎥（１日平均給水量11,745㎥）となっています。

なお、運営にあたっては、より一層の経費の節減を図り、効率的な事業経営に努めていきます。

平成17年6月

市の財政（財政状況の公表）

平成17年６月１日発行

編集
発行　千葉市財政局財政部財政課

千葉市中央区千葉港１番１号
電話 043（245）5077

この印刷物は再生紙を使用しています。

※本市の予算・決算など、財政に関するその他の資料については、財政課ホームページをご覧ください。

Http//www.city.chiba.jp/zaisei

THE FLOWERY CITY・CHIBA

# 花の都・ちば